

令和8年度 みやき町立中原中学校 学校だよりNo.3



蒼鷹

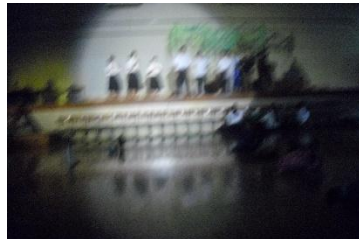
～青空を大きく舞う
鷹のように

発行：令和8年10月19日（月） （文責）校長 川原 文

《がんばっています!》～文化発表会に向けて

秋の深まりを感じる季節となりました。いよいよ本年度の文化発表会の開催が近づいてまいりました。校内では、発表や展示、合唱コンクールの準備に取り組む生徒たちの真剣な表情と、仲間と協力しながら活動する明るい声があふれています。

文化発表会は、日頃の学習の成果を発表する場であるとともに、生徒が主役となり、自ら考え、一人一人が力を発揮し、仲間とともに創り上げる喜びを体感する貴重な学びの機会です。準備を進める生徒たちの姿からは、主体性や協働する力の高まりを感じています。



今年のテーマは、

「Another Story ～新たな物語をここに～」

生徒会の文学委員会を中心に、6月末から取り組み始めました。生徒たちで複数回の会議を行い、このスローガンに決定。1学期の終業式で全校生徒に発表したものです。提案者の思いを紹介します。

普段の学校生活で培ってきた力と、これから行う新たな取り組みを通して得られる力で、斬新(これまでにない新しい)で、みなさんの心に刻まれる文化発表会にしたいと思っています。

そのためには、一人一人の個性を大切にする、自分たちで考えて行動する、仲間と協力して創り上げることが大切です。私たち一人一人が持っている豊かな個性をみんなが発揮し、みんなが輝くことができる最高の文化発表会を作り上げたいという願いをこのスローガンに込めました。

吹奏楽部の演奏、各学年の劇、合唱コンクール、3年生による学年合唱など、今年も見ごたえのあるステージになりそうです。また、教科や総合的な学習の時間に取り組んだレポートなどを展示しており、日頃の学びの成果をご覧いただけることと思います。

開催日は 10月23日（金）です。

保護者の皆さまのご来校をお待ちしております。

《みんなで考える ルールの向こうにある「安全」》

生徒の自転車の乗り方について、地域の方からご指摘をいただきました。

中学校から西へ向かう坂道を、自転車で勢いよく下っていく生徒がいます。その先の四叉路で、自転車と出会い頭に衝突しそうになった、とのことでした。

この場所は、中学校で「自転車を降りて通行するように」と指導をしている箇所です。なぜそのような約束になっているのでしょうか。

私は、子どもたちに「決まっているから守る」「違反すると罰則があるから守る」だけで終わってほしくないと思っています。大切なのは、その約束が何のためにあるのかを理解し、自分で安全な行動を選択できるようになることです。

そこで、このことについて全校集会でも話題にしました。生徒たちに伝えたのは、「事故に遭わないこと・事故を引き起こさないこと」です。そして、「自分で自分の安全を守れるようになってほしい」「周りの人の安全も守れるようになってほしい」という願いを話しました。

道路交通法には、「他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転しなければならない」とあります。自転車もその対象です。私は、この条文の趣旨を、生徒たちに「道路では、周りの人を驚かせたり、こわがらせたり、不安にさせたりする行動を避け、みんなが安心して過ごせるように行動することが大切だ」と伝えました。

交通ルールは、「決まりだから守る」だけではなく、「自分や周りの人の安全を守るために守る」ということを子どもたちに理解してほしいと願っています。また、子どもたちには、周囲の状況をよく見て、自ら安全を判断し、主体的に行動できる力を育ててほしいと願っています。

ご家庭でも、この機会に「なぜその場所では自転車を降りて通行するのか」「どのような危険が考えられるのか」、そして「自分や周りの人の安全をどのように守るのか」について、お子さんと話題にしていいただければ幸いです。

《地域の一員として》 風まつり 9月5日

今年も「風まつり」実行委員会から声をかけていただき、ボランティアスタッフとして3名の生徒が参加しました。また、吹奏楽部、和太鼓など演者として参加した生徒もいました。





地域のお祭りへの参加を通して、自ら考え行動しながら地域に貢献する経験を積んでほしいと思います。その経験が、ふるさとを大切に思う心や、社会とかかわろうとする気持ちにつながっていくことを願っています。これからもよろしくお願いいたします。

《未来へつなぐ旅》 3年生修学旅行

9月9日から11日までの3日間、3年生が修学旅行に行ってきました。

当初は九州新幹線を利用し、熊本・鹿児島方面を訪れる計画でした。しかし、熊本地震からの復旧・復興が続く中、安全面や交通事情を踏まえ、一部行程を見直して実施することとしました。



生徒による実行委員会では、地震による被害や復旧の状況にも目を向けながら、行き先や日程について真剣に話し合いました。自分たちの旅行について自ら考え、意見を出し合う姿は、大変頼もしいものでした。

こうした生徒の意見と最新の情報をもとに最終的な行程を決定し、無事に修学旅行を実施することができました。旅先で多くの学びや出会いを経験し、仲間との絆をさらに深められたことと思います。

《生徒会長選挙》 9月25日



生徒会長選挙立会演説会では、立候補者の学校をよりよくしたいという思いが伝わる演説が続きました。生徒たちもその思いを受け止め、自分なりの考えをもって投票に臨んでいました。



《AI 時代を生きるチカラ》 9月30日

～本校卒業生 井上昂治先生(京都大学)～

今年も、本校卒業生である井上昂治先生のお話を聴く貴重な機会に恵まれました。

今年は、事前に本校職員の声や基本的なプロフィールを AI に学習させ、講演当日には「AI 先生」と生徒が実際に対話するという実験も披露していただきました。生徒たちは、まるで本人と話しているかのような自然な受け答えに、大きな驚きを感じていました。

井上先生は、AI の研究を通して人間のコミュニケーションの仕組みを理解し、その本質を解明したいという思いで研究を続けていること、そして AI を通して人と人がより豊かにつながる未来をつくりたいと考えていることを話してくださいました。

講演の最後には、「これからの社会では、AI の力を活用しながら人間社会が発展していくことになる。しかし、便利さには常にリスクが伴う。そのリスクを理解したうえで、正しく使うことが大切である」というメッセージが送られました。

AI が急速に普及する時代だからこそ、その可能性と課題の両方に目を向け、自ら考え、主体的に活用していく力の大切さを改めて考えさせられる講演となりました。